



## 自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること

副校長 山宮 秀和

5月となり、官公庁や企業では軽装での勤務を行う COOL BIZ の期間が始まり、夏の訪れを感じる時期となりました。学校でも、半そでのシャツで過ごす日々がやってくるはずでしたが、感染症拡大予防のため、子供たちの姿が学校にないのが、残念であり、寂しく感じております。1日でも早く感染症が終息を迎え、子供たちが学校に戻ってくる日が来るのを願っています。

さて、昨年度と本年度、浅草小学校は、「台東区人権尊重教育推進校」として、校内で研究を行っています。人権教育は、あらゆる偏見や差別をなくし、様々な人権課題に関わる差別意識の解消をはかるために、多様な教育活動に基づいて教育することで、全ての学校が大切にしなければならないことです。その中でも、浅草小学校は、推進校として、特に人権教育を大切にしていきます。

人権教育は、子供たちに分かりやすく表現するならば、「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」であるといえます。浅草小学校では、推進校として人権教育を行うために、「進んで関わり 学び合う浅草っ子」を研究主題として校内研究を行います。同和問題や、障害者への差別などの人権課題を取り上げるとともに、それ以外の授業でも、一人一人の子供の発想や発言を大切にしながら学び合うことで、人権教育を推進していきます。現在、臨時休業中のため、子供たちと向き合っの授業はできませんが、再開に向けて学校では様々な協議を重ねています。子供たちと一緒に授業作りをすることを職員一同、楽しみにしています。

さて、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、社会の中で様々な不安が広がっています。その中で、とても残念なことです、一部に差別的な行動や言動が見られるようです。広報東京都でも、「感染者や医療従事者などが、誹謗中傷やいわれの無い差別的な扱いを受ける事例などが発生しております。不確かな情報に惑わされることのないように、冷静な行動をお願いします。」と呼びかけられています。このような状況であるからこそ、人権尊重教育推進校・浅草小学校の子供たち、そして、浅草小学校に関係するすべての人が、率先して、誹謗中傷や差別を明確に否定し、正しい知識をもって、冷静な判断ができるようになってほしいと強く願っています。学校でも、子供たちに語りかけ、一緒に考える準備をしています。

「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」 私自身、このことを改めて噛みしめるとともに、人権感覚をさらに磨いて、子供たちの前に立つことができるようにしたいと考えています。

### 臨時休業日延長に関する学校からのお知らせ

- ・臨時休業は5月17日（日）まで延長されました。（5月1日現在）
- ・5月13日（水）～15日（金）に連絡日を設けます。連絡日には、学校で、担任と、学習や生活のことについて話す時間を設定します。（1人10分程度）
- ・連絡日には、1、2年生については、児童と保護者と担任の三者面談の形式で実施します。3年生以上は、児童と担任が面談することを基本としますが、保護者のご希望により、三者面談や、保護者と担任の面談とすることもできます。各学級から配布された面談表をご確認ください。また、学校に来校することを希望しない場合は、ご連絡をお願いします。
- ・5月からは、新しく学習する範囲を自宅での学習の課題として設定しています。教科書やワークシートを見ながら、じっくりと取り組んでください。また、自宅での学習のための時間割を配布し、より計画的に学習に取り組むことができるようにします。学習した内容は、担任が確認できるような方法を検討中です。
- ・1年生の入学式は、式典形式の入学式は実施せず、最初の登校日に児童と教職員のみで実施します。保護者の方を招いた会は、改めて状況を見ながら設定する予定です。
- ・就学援助関係の書類は、5月22日（金）までに、学校にご提出ください。
- ・今後の状況により、今回お知らせした内容を変更する場合があります。学校ホームページでお知らせしますので、ご確認ください。